

注意点1

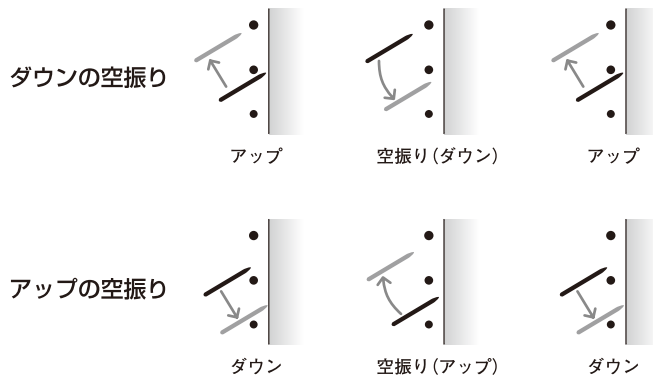


右手

空振りのやり方を理解して リズムカルに演奏せよ!

イントロは、空振りを交えたリフ・フレーズだ。空振りはダウンとアップの2種類があるが、アップの空振りに対してダウンの空振りは意外と苦戦するかもしれない(図1)。筆者もビギナー時代にアップの空振りしか知らずにかなり苦労した。実際に弾く時には、前後のアップ・ピッキングばかりを意識するのではなく、“アップ→ダウン→アップ”という連の動きをセットにして弾く【註】ことが大切だ。ダウンの空振りは誰もが苦戦することなので、慣れるまでは“ゆっくり&しっかり&大げさ”に空振りを入れるようにすると良いだろう。

図1



注意点2

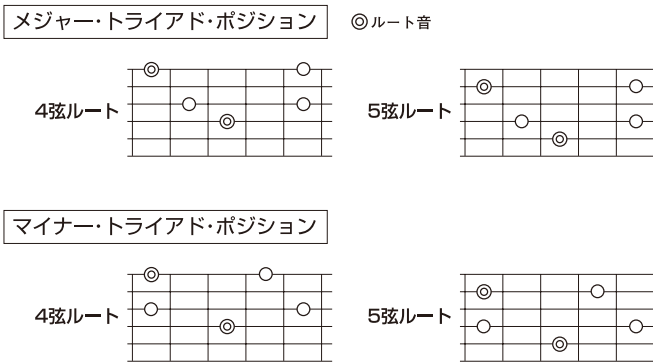


理論

スキッピング・フレーズの トライアドの形を覚えよう!

【A】には、スキッピング・フレーズが登場する。ポジションはメジャーとマイナーの基本形だが、ルート音の位置は4弦と5弦の2パターン(図2)。メジャーとマイナーの違いは、ルート音の次に弾く3度音になるが、形の違いをしっかりと理解しよう。ちなみに筆者は弦が変わっても、常に小指が同じフレットを押さえるのがメジャー、“弦が変わっても、常に人差指が同じフレットを押さえるのがマイナー”と覚えている。続いて注意する点は弦跳びの動作だ。慣れるまでは、弦跳び時の左手と右手の押弦&ピッキング・ポイントをゆっくりと確認しながら、タイミングを合わせる練習をしよう。

図2 メジャー&マイナー・トライアド・ポジション図



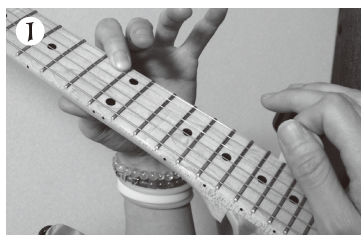
注意点3



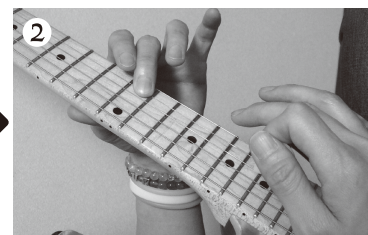
右手&左手

押弦力が必要になる 高度なスイープ+タッピング

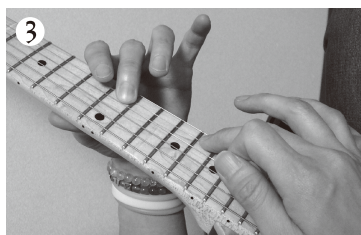
【F8】小節目の高度なスイープ+タッピングを解説しよう(写真①~④)。ここでは、まず王道的なスイープの上昇から1弦をタッピングした際に、次にプリングにつなげるので左手中指と人差指の押弦をキープしておくこと。続いて、左手先行のタッピングで2弦12フレットを鳴らす。左手でタッピングを行なう時には、中指を指板に対して垂直に叩き落とすように心掛けよう。その後、この左手中指を残したまま右手で16フレットをタッピングする。すぐにプリング(12フレット)に流れるので、左手中指は離弦しないように注意しよう。難度が高いフレーズだが、焦らずに演奏してもらいたい。



1弦 11f 押弦時。左手中指を2弦上空に準備しておこう。



2弦 12f をタッピング。今度は右手のタッピングを準備!



2弦 16f をタッピング。左手中指は離弦しないように!



右手でプリング。ここまで左手中指の押弦をキープさせよう!